

令和5年度

大仙市花館財産区特別会計  
歳入歳出決算審査意見書

大仙市監査委員

大仙監査一 73  
令和6年8月9日

花館財産区管理者  
大仙市長 老松博行 様

大仙市監査委員 伊藤 淳

大仙市監査委員 佐藤 富佳

大仙市監査委員 鎌田 正

令和5年度大仙市花館財産区特別会計  
歳入歳出決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された令和5年度大仙市花館財産区特別会計歳入歳出決算について審査したので、その結果について次のとおり意見を提出する。

## 目 次

### 令和5年度花館財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

I	適用した監査基準	1
II	財務監査等の種類	1
III	審査の対象	1
IV	審査の着眼点	1
V	審査の主な実施内容	1
VI	審査の実施場所及び日程	2
VII	審査の結果	2
VIII	審査の意見	2
IX	資料（決算の概要）	
	1. 決算額	4
	2. 歳入の決算及び執行状況	5
	3. 歳出の決算及び執行状況	6
	4. 財産調書	9

# 令和5年度大仙市花館財産区特別会計 歳入歳出決算審査意見

## I 適用した監査基準

本決算審査は、大仙市監査委員監査基準に準拠して実施した。

## II 財務監査等の種類

決算審査（地方自治法第233条第2項）

## III 審査の対象

決算審査の対象となった決算書等は以下のとおりである。

- (1) 歳入歳出決算書
- (2) 歳入歳出事項別明細書
- (3) 実質収支に関する調書
- (4) 財産に関する調書

## IV 審査の着眼点

審査に付された決算書等の計数の正確性を確認し、予算執行が適正かつ効率的に行われたかを審査した。

## V 審査の主な実施内容

決算書等の計数の正確性については、関係する諸書類との突合により、予算執行の適正性及び効率性については、関係各部署からの提出資料及び聞き取りに基づき、併せて定期監査や例月現金出納検査の結果等も参考に審査した。

### (1) 計数の正確性の確認

#### ア 歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書

予算執行は電算システムで管理され、個々の収入、支出のデータから決算書類を作成されることを踏まえ、土地貸付収入の調定及び収入未済等について、それらが正しく処理されているかを主な観点とした。

#### イ 財産調書

財産調書については、前年度調書との整合性、当年度の増減の適正性、当年度末残高の実在性の確認を主な観点とした。

### (2) 予算執行の適正性及び効率性の審査

予算を所管する部署に対し、資料提出を求め、聞き取りを行った。

特に収入未済額の実在性について、決算書と所管課の管理する台帳等との照合を行った。

## VI 審査の実施場所及び日程

### (1) 実施場所

予備審査は監査委員事務局、本審査は神岡支所情報活動室において実施した。

### (2) 日程

- 6月 3日 管理者から審査依頼  
決算審査実施通知
- 6月28日 予備審査（諸帳簿等確認）
- 7月10日 監査委員による本審査（対面審査）
- 8月 5日 審査意見 監査委員合議
- 8月 7日 関係部長講評
- 8月 9日 審査意見書の提出

## VII 審査の結果

審査に付された決算書等は、前記IV及びVにより審査した限りにおいて、地方自治法等の法令に適合し、かつ正確であると認める。

また、予算執行については別記の指摘事項を除き、おおむね適正であると認める。

### ○指摘事項

歳出のうちの諸支出金は、財産区住民の団体等に交付している補助金である。この補助金は住民福祉の増進に資することを目的として交付されてきており、これまでもその効果はあったものと考えられる。

しかし、財産区の沿革、地方自治法の財産区に関する各規定によれば「財産区の権能はその所有する財産又は公の施設の管理及び処分又は廃止に限られる」とされていることや行政実例において「財産区の財産の維持管理上必要な限度をこえてする補助金の支出は違法」（昭和35年4月18日行政実例）と解されていることから、こうした補助金については、当該経費を繰出金として市の一般会計に繰り出し市の事業として行うなど、適切な方法により支出されたい。

## VIII 審査の意見

### ・土地賃貸料について

土地貸付収入に収入未済額が151,264円計上されている。これは滞納者2名に対する賃貸料である。このうち1件については当初の契約者が死亡しており、現状では、相続人の存否も明らかでないことから、財産区としてどのような法的対応が可能かを整理した上で対応方針を検討されたい。

## IX 資料（決算の概要）

### 1. 決算額

#### (1) 決算額及び収支

(単位：円)

区 分	予算現額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B) - (A)	備 考
歳 入	11,613,000	43,718,811	32,105,811	調定額 43,870,075
				不納欠損額 0
				収入未済額 151,264
歳 出	11,613,000	9,631,310	△ 1,981,690	翌年度繰越額 0
				不用額 1,981,690

歳入歳出差引額（形式収支）(ア)	34,087,501 円
繰越事業の財源として翌年度に繰越す額(イ)	0 円
実質収支(ウ) ((ア)-(イ))	34,087,501 円
前年度の実質収支(エ)	34,016,121 円
単年度収支 (ウ)-(エ)	71,380 円

#### (2) 決算額の推移

(単位：円、%)

年 度	R01	R02	R03	R04	R05
予算現額	11,913,000	29,834,000	10,840,000	14,964,000	11,613,000
指数	100.0	250.4	91.0	125.6	97.5
歳入決算額	36,323,337	56,990,768	43,797,289	44,207,274	43,718,811
指数	100.0	156.9	120.6	121.7	120.4
歳出決算額	10,577,077	23,908,104	8,720,020	10,191,153	9,631,310
指数	100.0	226.0	82.4	96.4	91.1
形式収支	25,746,260	33,082,664	35,077,269	34,016,121	34,087,501
指数	100.0	128.5	136.2	132.1	132.4
翌年度に繰越すべき財源	0	0	0	0	0
実質収支	25,746,260	33,082,664	35,077,269	34,016,121	34,087,501
前年度の実質収支	25,738,505	25,746,260	33,082,664	35,077,269	34,016,121
単年度収支	7,755	7,336,404	1,994,605	△ 1,061,148	71,380

決算額及び収支に関する5か年度の推移は前表のとおりである。

令和5年度の実質収支から前年度の実質収支を差引いた単年度収支は71,380円の黒字である。

## 2. 歳入の決算及び執行状況

### (1) 決算額

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入割合		
						対予算	対調定	構成比
財 産 収 入	9,151,000	9,853,755	9,702,491	0	151,264	106.0	98.5	22.2
繰 越 金	2,461,000	34,016,121	34,016,121	0	0	1,382.2	100.0	77.8
諸 収 入	1,000	199	199	0	0	19.9	100.0	0.0
計	11,613,000	43,870,075	43,718,811	0	151,264	376.5	99.7	100.0

歳入の決算額は上表のとおりである。

### (2) 款毎の前年度比較

前年度と比較して収入済額は6.3%増加した。

収入未済額として計上されたものは土地貸付料であり、令和元年度～令和5年度における8件分である。

#### 1 款 財産収入

(単位：円、%)

年 度	予算現額	調定額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入割合	
						対予算	対調定
R05	9,151,000	9,853,755	9,702,491	0	151,264	106.0	98.5
R04	9,318,000	9,262,619	9,129,805	0	132,814	98.0	98.6
比較増減	△ 167,000	591,136	572,686	0	18,450	8.0	△ 0.1
増減率	△ 1.8	6.4	6.3	0.0	13.9	—	—

## 2款 繰越金

(単位：円、%)

年 度	予算現額	調定額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入割合	
						対予算	対調定
R05	2,461,000	34,016,121	34,016,121	0	0	1,382.2	100.0
R04	5,645,000	35,077,269	35,077,269	0	0	621.4	100.0
比較増減	△ 3,184,000	△ 1,061,148	△ 1,061,148	0	0	760.8	0.0
増減率	△ 56.4	△ 3.0	△ 3.0	0.0	0.0	—	—

前年度と比較して収入済額は3.0%減少した。

## 3款 諸収入

(単位：円、%)

年 度	予算現額	調定額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入割合	
						対予算	対調定
R05	1,000	199	199	0	0	19.9	100.0
R04	1,000	200	200	0	0	20.0	100.0
比較増減	0	△ 1	△ 1	0	0	△ 0.1	0.0
増減率	0.0	△ 0.5	△ 0.5	0.0	0.0	—	—

前年度と比較して収入済額は0.5%減少した。

## 3. 歳出の決算及び執行状況

### (1) 決算額

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	不用額	執行率	構成比
議 会 費	6,372,000	5,566,393	805,607	87.4	57.8
財 産 費	1,165,000	500,917	664,083	43.0	5.2
諸支出金	3,776,000	3,564,000	212,000	94.4	37.0
予 備 費	300,000	0	300,000	0.0	0.0
計	11,613,000	9,631,310	1,981,690	82.9	100.0

歳出の決算は前表のとおりである。議会費と財産費で歳出決算額の63.0%を占めている。

(2) 款毎の前年度比較

1 款 議会費

(単位：円、%)

年 度	予算現額	支出済額	不用額	執行率
R05	6,372,000	5,566,393	805,607	87.4
R04	6,344,000	5,096,768	1,247,232	80.3
比較増減	28,000	469,625	△ 441,625	7.1
増減率	0.4	9.2	△ 35.4	—

前年度と比較すると支出済額は9.2%増加している。支出の主な内訳は、議員報酬4,128,000円(前年度3,977,500円：150,500円増)、交際費107,450円(前年度136,618円：29,168円減)、議会活動費402,620円(前年度0円：皆増)、議会管理費920,323円(前年度975,150円：54,827円減)などである。

また、予算現額に占める不用額の割合は12.6%(前年度19.7%)である。

2 款 財産費

(単位：円、%)

年 度	予算現額	支出済額	不用額	執行率
R05	1,165,000	500,917	664,083	43.0
R04	1,332,000	916,840	415,160	68.8
比較増減	△ 167,000	△ 415,923	248,923	△ 25.8
増減率	△ 12.5	△ 45.4	60.0	—

前年度と比較すると支出済額は45.4%減少している。支出の内訳は、森林保育経費121,000円(前年度271,480円：150,480円減)、事務費等370,795円(前年度627,616円：256,821円減)、森林組合負担金9,122円(前年度17,744円：8,622円減)である。

予算現額に占める不用額の割合は57.0%(前年度31.2%)である。

### 3款 諸支出金

(単位：円、%)

年 度	予算現額	支出済額	不用額	執行率
R05	3,776,000	3,564,000	212,000	94.4
R04	6,788,000	4,177,545	2,610,455	61.5
比較増減	△ 3,012,000	△ 613,545	△ 2,398,455	32.9
増減率	△ 44.4	△ 14.7	—	—

前年度と比較すると支出済額は 14.7%減少した。諸支出金の内容は住民団体等に対する補助金である。

補助金の内訳は次のとおりである。なお前年度の実績は 25 件、3,691,000 円である。

#### 補助金及び負担金の支出内容

(単位：円、件)

名 称	金 額	件 数
花 館 ス ポ ー ツ 振 興 会 補 助 金	462,000	1
花 館 地 区 社 会 福 祉 協 議 会 補 助 金	216,000	1
花 館 地 区 老 人 ク ラ ブ 連 絡 協 議 会 補 助 金	428,000	1
花 館 地 区 子 ど も 会 育 成 連 合 会 補 助 金	108,000	1
花 館 地 区 町 内 部 落 会 館 運 営 費 補 助 金	1,455,000	15
花 館 小 学 校 部 活 動 費 補 助 金	540,000	1
花 館 地 区 コ ミ ュ ニ テ ィ 会 議 補 助 金	100,000	1
花 館 地 区 町 内 会 連 絡 協 議 会 補 助 金	50,000	1
花 館 小 学 校 マ ー チ ン グ バ ン ド 助 成 事 業 補 助 金	200,000	1
ご み 集 積 所 修 繕 事 業 補 助 金	5,000	1
計	3,564,000	24

#### 4款 予備費

(単位：円、%)

年 度	予算額			支出済額	不用額
	当初	予備費支出	現計		
R05	300,000	0	300,000	0	300,000
R04	500,000	0	500,000	0	500,000
比較増減	△ 200,000	0	△ 200,000	0	△ 200,000
増減率	△ 40.0	－	△ 40.0	0.0	－

令和5年度は予備費支出がなかった。

#### 4. 財産調書

##### (1) 公有財産

##### ①土地及び建物

(単位：㎡)

区 分		前年度末現在高	年度中増減高	決算年度末現在高
土 地	山 林	499,599.70	0.00	499,599.70
	宅 地	3,501.50	0.00	3,501.50
	原 野	1,261,725.71	0.00	1,261,725.71
	池 沼	1,599.00	0.00	1,599.00
	田 畑	11,225.51	0.00	11,225.51
	そ の 他	481,337.00	0.00	481,337.00
	計	2,258,988.42	0.00	2,258,988.42
建 物	14.04	0.00	14.04	

②山林（普通財産）

区分		単位	前年度末現在高	年度中増減高	決算年度末現在高		
所有	面積	直 営	m <sup>2</sup>	720,100.00	0.00	720,100.00	
		貸付分収	市行林	m <sup>2</sup>	49,586.77	0.00	49,586.77
		合 計		m <sup>2</sup>	769,686.77	0.00	769,686.77
	立木	直 営	m <sup>3</sup>	杉 21,271.00	0.00	21,271.00	
		貸付分収	市行林	m <sup>3</sup>	杉 261.00	0.00	261.00
		合 計		m <sup>3</sup>	杉 21,532.00	0.00	21,532.00

③出資による権利

（単位：円）

区分	前年度末現在高	年度中増減高		決算年度末現在高
		増	減	
仙北西森林組合出資金	344,000	0	0	344,000

(2) 物品（100万円以上）

（単位：台）

区 分	前年度末現在高	年度中増減高		決算年度末現在高
		増	減	
自 動 車	1	0	0	1

(3) 基金

○ 大仙市花館財産区財産維持管理基金

（単位：円）

区 分	前年度末現在高	年度中増減高		決算年度末現在高
		増	減	
現 金	290,000,000	0	0	290,000,000